

令和3年度 入学式 校長式辞

実り多き田園がひろがるここ伏見向島に、春の色どりを感じさせる今日の佳き日、令和3年度、京都府立京都すばる高等学校入学式が、保護者の皆様とともに、在校生や教職員の祝福を受け、盛大に挙行できますことは、このうえない喜びでございます。

只今、入学を許可されました、246名の入学生の皆さん、入学おめでとうございます。本日入学式を迎えた皆さんは、入学の喜びと、高校生活への期待で胸いっぱいのことと思います。一方、これからの高校生活に対する不安もあると思います。どうか一日も早く新しい環境に慣れ、楽しい充実した高校生活を送ってくれることを願っています。

皆さんを迎える本校は、昭和60年に「商業」に関する専門高校「京都府立商業高等学校」として開校し、平成15年度の学科改編により「商業」と「情報」に関する専門高校「京都府立京都すばる高等学校」として生まれ変わりました。平成28年からの3年間は文部科学省のスーパープロフェッショナルハイスクールの研究指定を受け、令和元年度からの3年間は同じく文部科学省の地域との協働による高等学校教育改革推進事業の研究指定を受け、国の教育改革をけん引する役割を果たしています。また商業科の学科改変を行い、今年はその完成年度にあたり、全ての学年が「起業創造科・企画科・情報科学科」の3学科から構成されることになり、新たな歴史がスタートします。

その歴史の中で、今も昔も変わらないことは、本校が職業教育あるいはキャリア教育で、生徒ひとり一人の未来を明るく照らすことを目指す、職業に関する専門高校であるということです。職業につくということは「働く」ということであり、そこには3つの目的があると思っています。1つ目は「貢献すること」、これは誰かの役に立つ、誰かを喜ばすということです。2つ目は「自己実現を果たすこと」、これは自分のやりがいや生きがいを得るということです。そして3つ目は、貢献と自己実現による成果としての報酬、いわゆる稼ぎを得るということです。本校で学び、就職する場合はもちろんのこと、大学や専門学校などへ進学する場合においても、この働く目的を達成できる人になることは、自分自身と社会の幸福の実現のためには欠かせないことの1つだと思います。

そこで、皆さんが、本校において、自分自身と社会の幸福への到達を目指す高校生活を送るために心掛けていただきたいことを2つお話しします。

1つ目は貢献できる人、誰かの役に立てる人になるためには、日々の授業や家庭学習の時間を大切に基礎学力を、しっかり身につけるとともに各学科の目標にそった専門性のある知識と技能を身につけることが大切です。また、部活動において心や体を鍛えることも大切です。さらに、豊かな人間性をもつことが大切です。本校の門をくぐるとその右側につつじの木に囲まれた石碑があります。そこには本校の校是である「明朗」「寛容」「忍耐」の文字が刻まれています。明るく朗らかな人であれ、人に対して寛容な心を持つ人であれ、時に出くわす困難な事にも辛抱できる人であれ、校是にはそんな思いが込められています。

2つ目は自己実現、自分のやりがいや生きがいを見つけられる人になるためには、自分の無限の可能性を信じ、様々なことに挑戦をする気持ちと行動、さらに自分を支えてくれている人への感謝の気持ちを持つことが大切です。その挑戦は大きな挑戦でなくてもいいのです。小さな挑戦を繰り返すことで、自分自身の可能性がますます広がっていく事につながるものです。中学生の時はしなかったこと、しなかったけどできなかったこと、高校生になる時は新しい何かに挑戦するビッグチャンスです。また、挑戦をすることは勇気のいることですが、その挑戦が成功に終わっても失敗に終わっても、今よりひとまわり大きく成長できるはずです。さらに、挑戦をする気持ちとともに、日ごろから自分を支えてくれて

いる人の存在を意識し、感謝の気持ちを持つことが大切です。そうすると、成功した時はあなたに賞賛の拍手を贈ってくれるでしょう。また、失敗した時はあなたを助けるために手を差し伸べてくれるはずです。

本校は、「楽ではないが楽しい学校」を目指しています。「楽ではない」のところは、接する人に敬意をはらう「身だしなみやあいさつ・言葉遣い、あるいは約束を守る」ということを徹底的に大切にしているところや、集団で迅速に行動できる力を大切にしているところなどによって、「厳しいなあ」「楽ではないなあ」と思う時があるかもしれないということです。一方の「楽しい」のところは、「やりきる楽しさ」と「文字通りの楽しさ」です。専門高校ならではの学校行事や産業界や大学などと連携した協働的な学びと資格取得、心と体を鍛える部活動、そして、卒業後の進路実現等を「やりきる」ことによる達成感や充実感から感じる「やりきる楽しさ」、そして日々の学校生活を共に過ごす仲間と語り合ったり、みなさんを指導しサポートする先生方と語り合ったりするなかで感じる笑顔あふれる「文字通りの楽しさ」です。長い人生におけるかけがえのない高校生活の3年間をそのように熱く楽しく過ごして欲しいと思っています。

2020年、世界全体が新型コロナウイルス感染拡大といった予期せぬ事態に巻き込まれました。日本でも3月には全国の学校が一斉休校になるという事態を経験しました。ワクチンが開発されたもののまだまだ感染拡大防止への備えが必要な時が続き、本校でも新型コロナウイルス感染症に対応した「学校の新しい生活様式」を踏まえた衛生管理を徹底します。そのような中、新たなオンラインによるコミュニケーションの必要性が高まるとともに、人と人が対面するリアルなコミュニケーションの大切さが再認識されました。この2つのコミュニケーションをともに大切にしたい先には、ウイズコロナ、アフターコロナとよばれるこれからの時代のピンチをチャンスに変えられる新しいヒントがあるはずです。

終になりましたが、保護者の皆様方に一言、御挨拶を申し上げます。本日はお子様のご入学、誠にありがとうございます。心からお喜び申し上げます。9ヶ年の義務教育を終えられ、京都すばる高校にご入学されたお子達の晴れ姿に、感慨もひとしおのものがあろうかと思えます。今後、私達は保護者の皆様と連携を密にしながら、ご期待にそうよう努力してまいる所存でございます。本校の教育方針や指導について深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご家庭におかれましては、子どもの主体的な活動を励ますと同時に、高校生としての望ましい在り方への御指導もよろしく願いいたします。時には、人生のよき相談相手となっていきたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、新入生の皆さんの、本校における生き生きとした活躍を期待して、式辞といたします。

令和3年4月8日
京都府立京都すばる高等学校
校長 貴島良介